ＣＯＣＣＵＬＵＳ ＩＮＤＩＣＵＳ／サンカラン・ソウルオブレメディーズより

Cocc.はSycoticマヤズムに属するPlantレメディである。PulsatillaとIgnatiaに似ている。

Cocc.の状況というのは未婚の女性あるいは子供のいない女性のそれである。そういった状況下でその女性は人々の世話をし面倒をみる役目を持ち、自分独自のフィーリングや欲求を抑え込む。Cocc.の人は他人の苦しみに非常に敏感である。他人の気持ちや健康に対して同情し注意を払い不安を抱く。病人を心配して看護し一晩中起きていたりする。

“Anxiety for the health of others：他人の健康のことで不安”と“Loss of sleep aggravates：睡眠不足で悪化”はこのレメディを処方する際の主要な指標である。

睡眠不足によって神経の過敏状態が生じるー彼らは“raw：むきだしで”で“on the edge：ギリギリのところにいる”ような状態にある：

“Oversensitivity to noise, to carriage, to odours, to looking at moving objects：ノイズ、乗り物、匂い、動くものを見ること、に過敏”

“Giddiness, dullness, a sense of imbalance：浮ついた状態、鈍磨した状態、アンバランスの感覚”。その結果、目を閉じて横になりたいと欲する。

彼らは人の無礼に敏感で簡単に傷ついた感じになる：“Saddness, as if from insult：まるで侮辱されたような悲しみ”。

Cocc.の状態というのは、自分が誰かとつながっていると感じられず、家族に侮辱されがちであるというものである。そして自分独自のフィーリングを表現することができない。

“Sadness：悲しみ、鬱”“Sits with eye closed, absorbed in sad thoughts：目を閉じ悲しい考えにどっぷり浸って座っている”“Recognaizes everything but cannot move：全てを認識しているが動くことができない”Cocc.は外界の影響や侮辱や諸々を吸収している。しかしそれに対してなにかを行うことができない。

時にCocc.をCaust.と区別しなければならないことがある。Caust.はもっと固い。ほとんど独裁的といってもよく、家族や集団の一体性とか協力とかいうことに主に関心がある。それは敏感さの問題ではない。

ルブリクス

　ーSadness, as if from insult：まるで侮辱されたかのような悲しさ。

　ーAnxiety, about health：健康に関する不安感。

　ーAnxiety, for others：他人のことを心配する。

　ーDwells on past disagreeable occurrences：過去の意に添わない出来事のことをじっと考える。

　ーRecognizes everythins but cannot move：全てを認識しているが動くことができない。

　ーSensitive to all external impressions：あらゆる外側の状況に敏感。

　ーSensitive to rudeness：無礼な事に敏感。

　ーSits as if wrapped in deep, sad thouths and notices nothing：まるで深く悲しい考えに包み込まれたかのように座っており、なんにも気づかない。

　ーGrief, ailments from：悲しみで好転。

　ーTalk, indisposed to, desires to be silent, taciturn：話したがらない。黙っていたい。口数が少ない。

Phatak

　ーCar sickness：乗り物酔い。

　ーFear for health of others：他人の健康を心配する。

　ーRomantic：ロマンティック。